

市長の政治姿勢について

質問 市長は就任以来、実績を着々と積み重ねているが、今後の市政を担当する上での基本姿勢について、改めて市民に示してほしい。

また、町づくりの基本方針について、市長はどのように考えているのか。

答弁…市長

私の基本理念は、市民は「お客様」「顧客」であり、職員は「コスト」ではなく「資産」であるということへの原点回帰であります。そして、市民と職員の満足の一致が、私の求める市政の姿であり、「市民本位」「市民参加」「市民対話」による町づくりのための唯一無二の方法であろうと考えています。

私は市長就任後、これらの実現に向けて、可能なものから順次、取り組みを進めてきました。少しずつではありますが、私の姿勢と考えについて、職員意識への浸透と市民の理解が、成果として現れているように感じられます。

これからの市政運営に当たっても、「事業再検討」による施策の洗い直しや、市民や企業等との対話を基本として、施策の推進と市政への反映を目指してまいります。

また、本市の町づくりの基本方針についても同様でありまして、私は、人口を増やして元気な坂出市を取り戻すという大きな夢に向かって、市民の知恵と意見を集約している最中であり、その実現が私の使命であります。

今後、議会からの提言を頂く中で、市民と一緒に夢の実現にまい進していく覚悟です。

代表質問 「同志会」木下 清

中讃県税務所の跡地利用について

質問 中讃県税務所跡地については、市役所分庁舎として、教育委員会事務局等が利用することだが、詳しい内容やスケジュールは、どのようになっているのか。

また、現在、教育委員会事務局が使用している合同庁舎3階については、移転後、どのような利用をするのか。

答弁…副市長

中讃県税務所の跡地利用については、分庁舎整備事業として、一般会計当初予算に公有財産購入費、工事費、備品購入費等の関係予算を計上しています。

新年度において、売買契約などの事務手続きを行い、所有権移転登記後に必要な改修等を実施した上で、今年度の秋頃からの供用開始を予定しています。

中讃県税務所跡地は、教育委員会事務局が主に使用することとして配置計画を検討していますが、現時点では、1階に体育課、社会教育課、少年育成センターを配置し、2階には教育委員会室、教育長室、学校教育課等を配置するとともに、大・小会議室を確保する方向で検討しています。

また、教育委員会事務局が移転した後の合同庁舎3階については、環境経済部と農業委員会事務局などを配置し、その跡の本庁舎2階部分については、現在、庁舎北側にあります高齢介護課と地域包括支援センターを配置する方向で検討を進めているところです。

市立病院について

質問 市立病院の基本構想・基本計画(素案)では、移転新築場所の候補地として、中央小学校跡地が挙げられている。いろいろな角度から判断すれば、中央小学校跡地がベストであり、優先順位は高いと考えるが、市の見解は。

また、市立病院の新築にかかる費用は、約60億円と見込まれているが、新病院開設後の損益計算と資金収支について、市の見通しを伺う。

答弁…副市長

市立病院の移転新築場所については、市として、坂出市立病院のあり方有識者会議で候補地として示された内容等を踏まえると、中央小学校跡地が有力な選択肢の一つと考えています。

なお、中央小学校の用地については、現在、小学校として運営していますので、今後の活用については、教育委員会や地元との協議が必要と考えています。

答弁…市立病院事務局長

新病院開設後の損益計算については、建設時の投資の減価償却費が大きいと試算されており、医療機器の減価償却が終了する16年目以降から、黒字基調になると想定されています。

資金収支については、病院独自の健全経営に加え、施設等に係る起債の元利償還金の1/2が一般会計からの繰り出し基準であることを考慮すると、新病院開設後から黒字、すなわち資金余剰が生じると試算されています。